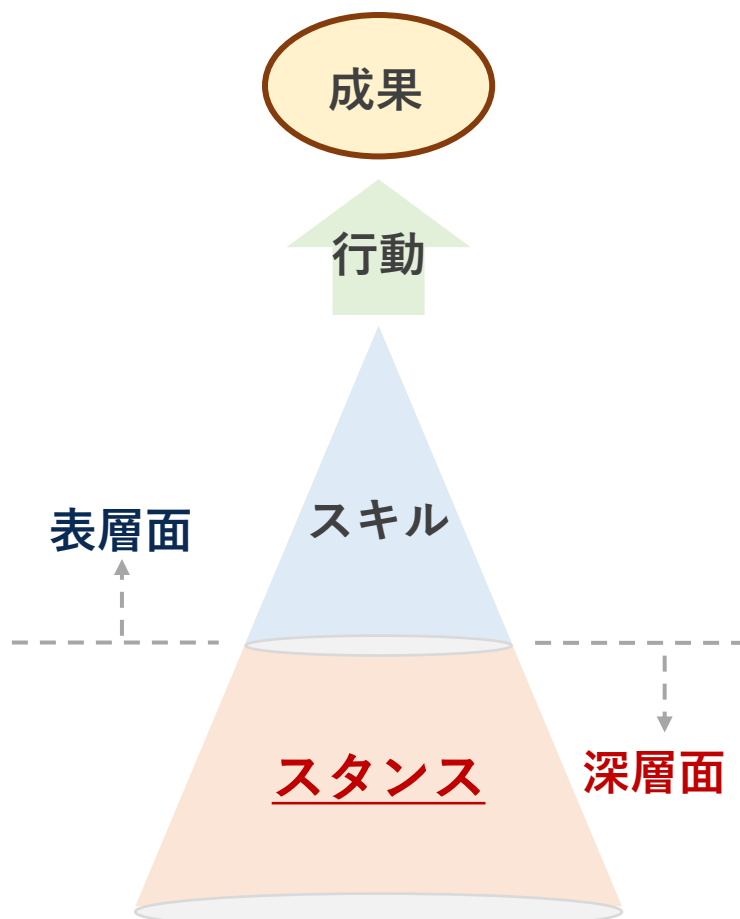


概念図



「ロバート・キーガンの“器”成長モデル」から一部追記

成果を出すためには行動が必要です。

行動したからと言って
成果が出るとは限りませんが、
少なくとも行動は必要です。

その行動を誘発するために研修では、
スキル付与や内省や動機付けを行います。

様々な仕事が存在するため、
何を成果として定義するのは
非常に難しいです。

ただ、
少なくとも行動に移したかどうか、
は職場の皆さんからは分かるはずで

我々は、この”行動”に着目しました。